（様式第1）

令和5年　　月日

アカデミア・コンソーシアムふくしま　御中

**令和5年度　大学発イノベーティブ・ベンチャー創出事業**

**大学発ベンチャー創出・育成プログラム**

**試作開発等支援　応募書類（応募様式）**

記

■応募者名（研究者、チーム場合はチーム名と代表者名）

■所属先（ACF加盟機関名もしくは登記されている法人名）

■所属先の住所

■電話番号（所属先の研究室）

■携帯電話番号（至急の連絡がつきやすいもの）

■メールアドレス（所属機関のドメインのもの）

■プロジェクト名

ビジネスプラン、応募内容を簡潔かつ的確に表現したタイトルを30字以内で記載してください。

（この朱記で示した記載上の注意点は削除してください）

■類型選択

**Ａ類型**：

量産及び事業化前の商品試作やサービス試行に、１件あたり200万円（税込）を上限として、２件以内を採択して研究委託する。

**Ｂ類型**：

プロトタイプ試作・試行等による実証の支援に、１件あたり100万円（税込）を上限として、７件以内を採択して研究委託する。

 申請する類型にチェック✅を入れてください。 ⇒　[ ] Ａ類型 ・ [ ] Ｂ類型

**尚、Ａ類型の応募申請については、Ｂ類型との併願申請を可とします。その際は両方に**✅**を入れてください。**

**Ａ、Ｂ併願申請をされた場合、Ａ類型で不採択になった方は、Ｂ類型として再度審査されます。**

**その際、仮にＢ類型として採択された場合の上限額は100万円に減額されます。**

・1円単位まで記載してください。

・別紙2の必要経費内容合計と整合。

（この朱記で示した記載上の注意点は削除してください）

■経費必要額 ○○○円（経費総額）

■申請額 　　　　○○○円（各類型の上限金額以内）

　以上

（別紙１）

令和5年度　大学発イノベーティブ・ベンチャー創出事業

大学発ベンチャー創出・育成プログラム

試作開発等支援　応募書類

**1. 応募内容**

①応募者概要　　　（※）の部分は該当する場合にのみ記入してください）

|  |  |
| --- | --- |
| プロジェクト名(表紙と同じに。30字以内) |  |
| プロジェクトの概要（100字程度） |  |
| 所属名（研究室） |  |
| 応募者名チームの場合はチーム名と代表者名 |  |
| 所属先住所 | 〒 |
| 電話番号 |  | 携帯番号 |  | FAX |  |
| メールアドレス |  |
| 試作開発の実施場所 | 　　　　　（どちらかにチェック◉を入れる） |
| 実施場所の住所　(※) | 〒 |
| 実施場所名称 (※) |  |
| 電話番号 (※) |  | 携帯番号 |  | FAX |  |
| メールアドレス(※) |  |
| 資本金 (※)（＊予定含む） |  | 主たる業種　(※) |  |
| 設立日 (※)（＊予定含む） |  | メンバー数もしくは社員(＊予定含む） |  |
| 主要メンバー（代表者以外） | ・役員、雇用関係にある社員、顧問などを、肩書き等も含め記載してください。（この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） |
| 実施体制 | ・今回の応募で連携する企業、大学等があれば、その関係性がわかるように必要に応じて組織図などを使って記載ください。・宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。（書式枠の外への添付も可能です。以降同様。その場合は、書式枠内にその旨記載のこと）（この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） |

②これまでの成果、現状の問題点

|  |  |
| --- | --- |
| これまでの成果 | ・技術開発の実績や、技術の事業化におけるPoC(概念実証)等の状況、これまでに行った事業等やその実績について、記載してください。・適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。（この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） |
| 現状の問題点 | ・今後の事業や技術開発における問題点やボトルネック、応募の背景となる内容を記載してください。・適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。（この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） |

③試作開発等の計画

|  |
| --- |
| ・現状の問題点をクリアするために、どのような概念実証、試作開発、市場調査等を行うのか？その内容、スケジュール、外部連携者と応募者での実施内容の区分、成果の帰属等がわかるように記載してください。・必要に応じて、図や表を利用してください。・適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。（この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） |

④事業化に向けた構想

|  |
| --- |
| ・ご自身の技術シーズに基づいた社会実装、事業化に向けた企業との連携イメージ、概略のスケジュール構想を記載する。・適宜、改行したり枠を広げたり、余白を詰めたり調整してください。（この朱記で示した記載上の注意点は削除してください） |

⑤これまでに交付を受けた県や国等の補助金、又は学術支援、委託費等の実績説明

（申請中の案件を含む）

該当ない場合は、最初の表の「事業名称及び事業概要」に欄に「該当なし」と記載してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称及び事業概要 |  |
| 事業主体 |  |
| 実施期間 |  |
| 補助金額・委託額 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　万円 |
| テーマ名 |  |
| 本事業との相違点 |  |
| 事業成果・実績 | （直近の事業化段階：　　　）※事業成果・実績期についても簡潔に記載 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称及び事業概要 |  |
| 事業主体 |  |
| 実施期間 |  |
| 補助金額・委託額 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　万円 |
| テーマ名 |  |
| 本事業との相違点 |  |
| 事業成果・実績 | （直近の事業化段階：　　　）※事業成果・実績期についても簡潔に記載 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名称及び事業概要 |  |
| 事業主体 |  |
| 実施期間 |  |
| 補助金額・委託額 | 　　　　　　　　　　　　　　　　　万円 |
| テーマ名 |  |
| 本事業との相違点 |  |
| 事業成果・実績 | （直近の事業化段階：　　　）※事業成果・実績期についても簡潔に記載 |

（応募書類作成にあたって）

* このＷＯＲＤ書式で作成するにあたり、必要に応じて改行して枠を広げたり、余白を詰めたり適宜調整頂いても結構です。
* 提出にあたってはＰＤＦ化してください。
* 別記や添付としたい場合は、該当する欄にその旨を記し、別添頂いても結構です。こちらについても上記ＰＤＦに含め、まとめて１ファイルとして提出ください。

（別紙2）

令和5年度　大学発イノベーティブ・ベンチャー創出事業

大学発ベンチャー創出・育成プログラム

試作開発等支援　応募書類

**2．経費内容**

**単位：円（税込）**

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **経費区分** | **仕様・内容** | **個数** | **単位** | **単価** | **小計** | **仕入先又は見積徴取先****（※）** |
| 備品費 |  |  |  |  |  |  |
| 原材料/消耗品費 |  |  |  |  |  |  |
| 設備等借料 |  |  |  |  |  |  |
| 外注費 |  |  |  |  |  |  |
| 人件費 |  |  |  |  |  |  |
| 旅費 |  |  |  |  |  |  |
| 通信運搬費 |  |  |  |  |  |  |
| その他 |  |  |  |  |  |  |

**合計： 円（税込）**

（1枚目の必要経費額と整合）

（※）採択後提出頂く見積書や実績報告書、会計報告書等の書類との整合性が求められます。

採択および研究委託契約後、変更が必要になった場合は、すぐに必ずACF事務局にご相談ください。あらためて確認させて頂きます。